

【16. 選択領域(6時間):教師の実践的指導力を支える理論・技法Ⅲ】

| 講習内容 | これからの学校教育を担う教師の資質能力として、「実践的指導力」「課題対応力」の必要性が強く問われています。本講座では、「学校における情報倫理教育の在り方」「マルチメディア教材の活用法」について、様々な事例を取り上げながら、具体的に学びを深めます。 | | | | | | |
|------|---|--|--|----------------------------------|-----------|------|------|
| | 講座番号 | 講座テーマ | 内 容 | | | 受講対象 | 時間 |
| | | 講座概要 | 到達目標 | キーワード | | | |
| ⑩-1 | 情報機器利用と法律の側面から考える情報倫理 数理的意味決定法の実践 | 前半では、情報機器(パソコン・携帯端末等)を利用する際の情報倫理について紹介する。情報社会における人々の情報機器利用状況、情報とは何か、インターネットサービスにはどのようなものがあるかを概観し、情報セキュリティ・サイバー犯罪などの法的側面から情報倫理との関係性をとらえ、メディアリテラシーについて考える。 後半では、数理的意味決定手法である階層分析法を解説し、実際に参加者にテーマを通してどのように活用できるか議論してもらい、モデルを通して数値結果を導出してもらう。 | 前半では、情報倫理の基礎を知ってもらい、児童・生徒・学生の教育に際してどのような留意が必要かを考察してもらいたい。後半では、数理的意味決定法を知ってもらうことで、実際の教育現場での意味決定の際に新たな視点を持ち、数理的意味決定が教育にどのように役立てることができるかを考察してもらいたい。 | 情報倫理 数理的意味決定法 | 中・高等学校全教諭 | 3 | 杉浦 伸 |
| ⑩-2 | マルチメディア教材の活用法(教育コンテンツ論) | コンピュータやその周辺機器の技術革新は、インターネットに代表されるネットワーク、通信システムの改革(「ICT(情報技術)革命」)をもたらし、AI、VR、プログラミング教育などの多くの課題があります。本講義は、「学校教育におけるICT利活用の課題」「授業づくり、授業研究におけるICT活用の可能性」についてグループワーク等の演習を通して学ぶ。 | ・学校教育におけるICT利活用の課題を学び、授業づくり、授業研究等で活用することができる。 | 「ICT教育」 「授業設計」 「プログラミング教育」 | 中・高等学校全教諭 | 3 | 平山 勉 |